

指導行政のポイント

中教審答申「教養教育」の読み方

菱村 幸彦

先ごろ、中央教育審議会から「新しい時代における教養教育の在り方について」の答申が出された。この答申をどう読むか。

“新しい時代の教養”とは

この答申は、政策の提言というよりは教育のあり方・理念を説くものである。こうした答申は珍しい。その意味では、読者一人一人が「教養とは何か」を考えたいので、答申を読むとおもしろい。自分の考える教養と答申が述べる教養と、どこが同じで、どこが違うか。それを点検しながら読むと、一段と味わい深いものとなる。

答申は、新しい時代に求められる教養について、「変化の激しい社会にあって、地球規模の視野、歴史的な視点、多元的な視点で物事を考え、未知の事態や新しい状況に的確に対応していく力」ととらえている。また、教養には「品性や品格」が欠かせないと指摘する。

で、こうした資質や能力をどのようにして身につけていくのか。ここで教養教育のあり方が問題となる。答申は、教養教育を高等教育はもちろん、初等中等教育や民間のさまざまな学習機会なども含め、生涯にわたってあらゆる場で行うべきものと説く。これは臨時教育審議会が示した生涯学習パラダイムに立った教育論の延長にあるとみていいだろう。

基礎学力の徹底が重要

初等中等教育段階における教養教育として、答申が掲げる主な項目を挙げると、次のとおりだ。

基礎学力（読み・書き・計算）の徹底

反復練習 / 家庭学習の課題設定 / 放課後の個別指導・補習指導 / 教職員定数の改善

国語教育・読書指導の重視

名文・詩歌の素読・暗唱・朗読 / 「朝の10分間読書」 / 司書教諭の配置 / ボランティアの活用

学習成果の検証

学校の自己点検・評価 / 学力調査による学習到達度の把握 / 論理的思考力・応用力等の評価方法の研究

知的好奇心の喚起

実験・ものづくりの実習 / 体験活動の導入 / 地域の人材の活用 / 異年齢集団による学習 / 美術館・博物館・図書館・劇場など地域文化財の活用

学習進度に応じた指導の充実

学習進度に応じた指導の実施 / 発展的な学習に関する指導法の開発 / つまづきやすい事項の分析 / 長所を見つけて褒めること

学力低下論の懸念に答える

こうして並べてみると、本紙35号で取り上げた文部科学省のアピール「学びのすすめ」とほとんど重なっていることに気づく。

中教審に教養教育のあり方が諮問されたのは平成12年である。このころから新学習指導要領に対する“ゆとり教育”批判が噴出し、学力低下論がかまびすしくなってきたことは周知のとおりだ。

新教育課程の基本ラインを敷いた中教審としては、こうした批判を看過できないと考え、教養教育という観点から、新教育課程の真のねらいを改めて審議し、その考え方をまとめた。「学びのすすめ」は、そうした中教審の考え方を踏まえて出されたものとみていいだろう。

(ひしむら・ゆきひこ = 公立学校共済組合理事長)

最新刊!

菱村 幸彦 著

学校経営と法律の接点

B6版 270頁 2625円

予約受付中! 10年間の審議会重要答申・統計資料・新法令・通知通達等を整理収録! 教育開発研究所・刊

創刊30周年記念増刊『教職研修‘02情報版』菱村幸彦監修

各学校・教委に1冊常備の資料大全 【資料CD ROM】添付 4月増刊・B5判300頁・定価2,730円

研修誌・図書の小社への直接のお申し込みは、無料FAX 0120-462-488をご利用ください(24時間受付・即日発送)